



まち歩きから昔のヒントを探す（下仁田町森林組合の事務所前）

下仁田の大地は貴重な資源です

下仁田ジオパークは平成29年度、再認定審査があり、日本ジオパークとして再認定を受けることができました。

ジオパークに認定されている地域は、4年に一度再認定審査を受けることになっていきます。審査では関係者へのヒアリングや関係する施設の見学などが行われます。審査でポイントとなるもののひとつが「地域でジオパークが理解されていること」です。今回の審査は無事に再認定になりましたが、いま一度、下仁田町がどんな場所なのかを復習してみましよう。

ジオパークは地質学的に貴重な資源がある場所で、それらを保全、活用していく取り組みです。プラタモリのように、景色や地形を見ながらその歴史や文化を考えるのもジオパークの楽しみ方のひとつです。下仁田町では妙義山や荒船山をはじめとする、古い火山活

動、クリツペの山々、中央構造線の露頭などが見どころとなっています。

このように多様な現象を見ることができるようにも下仁田の特徴のひとつで、日本の中でも特に変動の激しい地域だったということがわかります。そのため、昔から多くの研究者に注目され、研究が行われてきました。下仁田の地質はまだ研究中の段階ですが、下仁田の地質現象が詳しくわかると、日本列島の成り立ちを知ることができるようになります。下仁田ジオパークのテーマ「日本列島の成り立ちをひもとく根無し山」もそこから生まれました。下仁田の景色にはそんな壮大なスケールの物語が隠れています。次回からは、下仁田の景色の見どころを紹介していきます。

ぜひ一度、下仁田町自然史館へ足を運んでみてください。

地域おこし協力隊
（下仁田町自然史館勤務）

片山 美雪さん



編集室から

下仁田ジオパークが再認定審査の結果、再認定が決まりました。民間と行政が一体となつての運営体制の改善が認められたということで大変喜ばしいことです。認定を取り消されたジオパークもあると聞きますから、関係者のご努力は大変なことであったと思います。

また「荒船風穴」は前年より見学者が減つたものの、町歴史館とセツトでの見学者は増

加したとのこと。ジオパークも今後、より深く学ぼうと思いで訪れる見学者も増えることと思います。双方の相乗効果も大いに期待できるものと思っております。

次の定例会は3月の予定です。議会傍聴をお待ちしています。日程などのお問い合わせは
☎64-8810



議会だより第79号（平成29年11月1日発行）の内容に誤りがありました。5ページ4段目、「地産事業」とあるのは、正しくは「治山事業」でした。訂正してお詫び申し上げます。